

3 まちづくりの目標を達成するために

🌱(1) 市民活動団体の誕生を促します。

🌱(2) 活動団体の自立を支援します。

🌱(3) NPO、活動団体代表、地域企業、まちづくり研究会メンバーなど趣旨に賛同する者からなる「(仮)まちづくりプラットフォーム」*を設置します。

以下のような取り組みの実施を予定しています。

- ① 団体間交流
- ② シンボルプロジェクトの促進・支援
- ③ 新たなテーマの発掘
- ④ まちづくりのPR

🌱(4) 活動資金等

(一財)つくば都市交通センターの公益目的支出、市のまちづくり関連資金及び支援、地域の寄付金などを組み合わせ

市民協働によるまちづくりを基本とし、それらを支援・促進するための仕組みを検討していきます。*



* (仮)まちづくりプラットフォーム
事務局：(一財)つくば都市交通センター

* 平成25～27年度までの3ヶ年を限度に実施し、その間に地域団体へ移譲することとするが、その後の支援方法も検討する。

葛城まちづくりビジョンの作成

市民の皆さんと実際に現地を歩いたり、意見交換を通して出されたご意見・ご提案を反映させながら作成しました。

モニター勉強会* (H24. 05 ~ H25. 03)

モニターの方々から葛城地区の地域資源の情報(好きな場所、おすすめの場所等)をお寄せいただきました。

地域資源の再認識、情報の共有、モニターの方々からのアイデア提案

まち歩きを通してわがまちを再確認(地域資源の良さ、課題などを発見)

地域資源マップとまちづくりビジョン案を提示

テーマの設定、プロジェクト案の検討
地域資源の特性から「みどり」「タウンセンター」「歴史・文化、地域資産」の3つのテーマを設定し、ワークショップ形式で実現に向けた取り組みについて話し合いました。

「葛城まちづくりビジョン」を作成しました！

* モニター勉強会

「まち育てアンケート調査(平成24年2月実施)において地域活動のワークショップ等への参加意向のあった市民の方々に対象。「みんなで始めるまち育て」勉強会を5回開催。

と 今後のまちづくりの進め方

Q1

具体的な取り組み(プロジェクト)は今後どのように進められていくのですか？



市民の皆さんが親しみを持って参加できることや、実現に向けた可能性などを踏まえ、先行的な取り組みを設定しました。今後は、各テーマでの活動の促進、既存活動との連携、活動の企画など、段階的かつ連携して協働のまちづくりを進めていきます。

Q2

今後、地域活動に参加することはできますか？



各テーマでワークショップなどが随時行われています。ご興味のある方は下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

テーマ別計画

みどり

タウンセンター

歴史・文化
地域資産

それぞれのテーマ別計画のもと具体的な活動を進めていきます(内容は見開きページをご覧ください)。



葛

城

地

区

の

まちづくり



マップを囲んで皆さんと意見交換



まちを改めて確認すると
新たな発見もありました。



勉強会には毎回たくさんの方々に
ご参加いただきました。

* 葛城まちづくり
ビジョン研究会

UR都市機構、アドバイザー、コンサルタント等により構成。事務局は(一財)つくば都市交通センター、オブザーバーとしてつくば市が参加。

まちづくりビジョンを作成しました



葛城地区及びその周辺の主な地域資源を結ぶと緑のリングのようになっていくことから、ビジョンが目指す姿を「グリーンネックレス」としました。



電話 029-861-0500



FAX 029-856-0311



メール machisodate@tutc.or.jp

葛城まちづくりビジョン ～グリーンネックレス構想～

葛城地区の優れた地域資源を評価・維持向上させ、新旧の文化・余暇活動・健康的なライフスタイルなどが持続的に享受できるコミュニティづくりを目指します。

1 葛城のまちづくりの目標

葛城の地域特性を活かした“健康で楽しい暮らし”を実現させるため、住みよいまちづくり国際賞(リブコム・アワード)*の評価基準をもとに6つの目標を設定しました。

- (1) 市民協働のまちづくり
- (2) 健康的なライフスタイルの実現
- (3) 環境配慮への取り組み
- (4) 歴史文化資源の評価、活用
- (5) 景観の向上
- (6) まちづくりビジョンの共有化

2 目標を達成するための計画

かつらぎ 葛城三原則 さんげんそく

- ① できることから始めよう
- ② 新たなテーマを発掘しよう
- ③ まちづくりビジョンを共有しよう

テーマ別計画

市民の皆さんと共に今後具体的に取り組むテーマとして、3つの視点から先行的にまちづくりを進めていきます。

1 みどりの計画

目標

葛城地区及び周辺の里山のみどりの資源「花」「森」「農」を市民協働で育み、緑の基軸（グリーンネックレス）となる自然環境とコミュニティづくりを進める。

シンボルプロジェクト

(活動の例示)

- ★ 雑木林の保全活用
…イース東側の雑木林（市民緑地）における市民協働による保全活用
- ★ 千本桜プロジェクトとの連携 など

2 タウンセンターの活性化計画

目標

葛城地区の玄関口であり、また街の顔でもあるタウンセンター地区において、明るく楽しく、人々が留まり、交流する、にぎわい感ある界隈づくりを進める。

シンボルプロジェクト

(活動の例示)

- ★ タウンセンター地区において先行して取り組む内容の検討
- 駅前広場・通りの環境向上
・花による美しい街並みづくり活動
- イルミネーションイベントの強化、新たな連携
- 公共空間の活かし方
・駅前オープンカフェ
・駅前マルシェ など

3 歴史・文化、地域資産を生かす計画

目標

地域の歴史文化資産を含む地域資源を学び、評価し、新たな文化も薫るまちづくりを進めるとともに、市民の交流を図り、時を重ねてきた地域への理解を深め、愛着を育む。

シンボルプロジェクト

(活動の例示)

- ★ 地域資源マップの作成
…葛城の地域資産（歴史、新しい文化等）を発見し、学び、守り、伝え、創る活動としてのわがまちの“自慢マップ”づくり など



*リブコム・アワード(The LivCom Awards)は、「景観」「歴史・文化」「環境配慮」「持続可能なコミュニティ」「健康的なライフスタイル」「戦略的な将来計画」の6つの評価項目において住みよいまちづくりを評価します。

葛城まちづくりビジョン 「グリーンネックレス構想」(案)

「葛城地区の優れた地域資源を評価・維持向上させ、新旧の文化・余暇活動・健康なライフスタイルなどが持続的に享受できるコミュニティづくりを目指す」

関東を代表する平地林などの自然環境と都市的な環境が融合する葛城地区において、人々が生き生きと暮らせるまちづくりを、持続的に進めるために「葛城まちづくりビジョン～グリーンネックレス構想～」を提案する。

提案は【1】葛城まちづくりの目標、【2】目標を達成するための計画、【3】目標を達成するための仕組み、からなる。

1 葛城まちづくりの目標

まちづくりの基準として、国際的に評価されてきているリブコム^{※1}の6つの基準に準じ、本地域の特性を生かしたまちづくり目標をわかりやすく設定

(1) 市民協働のまちづくり

つくば市、地域の団体と協働して、まちづくりを進めよう。

自分のまちは自分で作ることにより、持続可能なまちづくりが可能となり、わがまち意識が高まる。

(2) 健康なライフスタイルの実現

健康なライフスタイルが実現できるよう、まちの設えと仕組みを工夫しよう。

住民交流が盛んになり、誰もが健康に暮らせるまちとなる。

(3) 環境配慮への取組み

社会・文化・経済・環境の各分野で、持続可能になるような取り組みをしよう。

地球規模での環境改善を意識し、地域でできることから取り組むことにより、人々の誇りとなる。

(4) 歴史文化資産の評価、活用

地域の歴史文化資産について学び、評価し、まちづくりに活かそう。

歴史文化資産は地域のアイデンティティを高め、それを学ぶことにより人々の誇りとなり、

また、地域への愛着が増す。

(5) 景観の向上

葛城地区の地域資源を活用し、景観を良くしていこう。

景観の向上により人が集まり、さまざまな活動が生じ、市民の誇りが生まれる。そのことにより

地域の質が上がる。

(6) まちづくりビジョンの共有化

みんなで作ったまちづくりビジョンを共有しよう

ビジョンを共有し、一つ一つ計画を実現することにより、持続的なまちづくりが可能となる。

2 目標を達成するための計画

「葛城三原則」

葛城地区の豊富で優れた緑環境の維持向上を基本に、街の将来像を描きながら、テーマごとに着実に持続可能なまちづくりを進める。

- ① できることから始めよう
- ② 新たなテーマを発掘しよう
- ③ まちづくりビジョンを共有しよう

「テーマ別計画」^{※2}

(1) みどりの計画

- ① 目標
葛城地区及び周辺の里山のみどり資源「花」「森」「農」を市民協働で育み、緑の基軸（グリーンネックレス）となる自然環境とコミュニティづくりを進める。
- ② シンボルプロジェクト
葛城地区の現在、あるいは将来を象徴する、みどりを生かしたプロジェクトを進める。
（例示）
 - ・市民緑地における市民協働による環境整備・維持管理
 - ・千本桜プロジェクトとの連携など
- ③ 実現シナリオ
ワークショップ、市民講座などを通して担い手を育成し、プロジェクトを地区全体に展開する。

(2) タウンセンター活性化計画

- ① 目標
葛城地区の玄関口であり、また街の顔でもあるセンター地区において、明るく楽しく、人々が留まり、交流する、にぎわい感ある界隈づくりを進める。
- ② シンボルプロジェクト
駅前広場周辺の歩行空間などグリーンネックレスを活用し、四季を感じるまちを演出するとともに、にぎわいづくりのためのプロジェクトを進める。

（例示）
 - ・オープンカフェ・マルシェなど
 - ・七夕・イルミネーションなど
 - ・駅前広場・通りなどの景観向上
- ③ 実現シナリオ
研究学園駅センター地区協議会と連携し、実証実験などを通じ、点から面に展開しながら界隈性を作り出す。

(3) 歴史文化・地域資源を生かす計画

①目標

地域の歴史文化資産を含む地域資源を学び評価し、新たな文化も薫るまちづくりを進めるとともに、市民の交流を図り、時を重ねてきた地域への理解を深め愛着を育む

②シンボルプロジェクト

有識者等とも連携し、歴史文化資産を含む地域資源を整理し、まちづくり全般に活かす。
(例示)

- ・地域資源マップの作成
- ・案内板などを設置し散歩コースなどを設定

③実現シナリオ

地域の歴史文化等について学ぶための場づくりなどを促し、地域交流を進め、歴史文化等を生かす計画を提案する。

3 目標を達成するための仕組み

市民協働によるまちづくりを基本とし、それを支援促進するための仕組みを検討 ^{※3}

(1) 市民活動団体の誕生を促す

テーマごとにワークショップなどを通して活動団体の誕生を促す。

(2) 活動団体の自立を支援する

専門家による活動支援等を行い、活動団体の自立を促す。

(3) NPO、活動団体代表、地域企業、研究会メンバー等趣旨に賛同する者からなるまちづくりプラットフォームを設置し、以下のことを実施。

(事務局:一般財団法人つくば都市交通センター／ オブザーバー:つくば市)

- ① 団体間交流
- ② シンボルプロジェクトの促進・支援
- ③ 新たなテーマの発掘
- ④ まちづくりのPR

(4) 資金等

つくば都市交通センターの公益目的支出、つくば市のまちづくり関連資金および支援、地域の寄付金などの組み合わせ

※1 リブコムとは、「The International Awards for Liveable Communities」の略称で、質の高い環境・景観の保全・創造による住みよいまちづくりの国際賞。世界の地方自治体が模範的な住みよいコミュニティづくりの成果を競い、優秀な成果をあげた自治体やプロジェクトを表彰する世界で唯一の国際コンペで、その活動はUNEP（国連環境計画）が認証する最高位のランクに位置づけられている。

※2 目標を達成し、ビジョンを実現するために、3つのテーマ以外に「少子高齢化」「環境・景観」等と重要なものがあるが、今後、まちづくりの仕組み作りとあわせて取り上げていく予定である。

※3 平成25～27年度までの3か年を限度に実施し、その間に地域団体へ移譲することとするが、その後の支援方法も検討する。